

2023.1.30 (月) ~ 31 (火)

会場：大阪大学総合学術博物館 3階



KURUMAISU de GO!

どうする★バリバリア

GO!

10:30 ~ 16:30  
(最終入館 16:00)

日曜日・祝日休み  
入場無料

「中之島に鼯を放つ——大学博物館と共創するアート人材育成プログラム」  
〈臨床のアート〉 walking practice 同じ景色をみよう

大阪大学大学院人文学研究科 大阪大学総合学術博物館 主催

# くるまイスでGO!

## どうする★バリバリア

大阪大学 総合学術博物館  
2023.1.30~3.4



website

——車輪を地面に触れさせないように、車椅子をA地点からB地点まで移動させやう。  
——<sup>ワッショイ</sup>してもろてもええやろか。

現代美術家の檜皮一彦が実践しとる“walkingpractice”。

「歩行訓練」つつちゅう試みて、参加者の人らは車椅子を「担ぎ」「回し」時々「品り上げ」ながら移動させなあかんねん。

階段やらスロープ、人の視線やら入場の規制……プロセスを通じて見えてきたんは見慣れたはずの社会の、全然ちやう景色やった。

協力とかコミュニケーションがなんか知らんけど生まれて、社会に潜在的にある障壁を可視化させるつつちゅう意味で、車椅子はひとつの媒体  
なんとちやうかなあ。

この展覧会では「中之島に鼯を放つ」の受講生らが様々な手法で記録したアーカイブを展示するねん。

会場には意図的に《<sup>バリバ</sup>ラエティーに富んだ障壁》が設けられてて、来場者はその身体ごと鑑賞に臨まんといかん。

うちは同じ景色をみるのができんのかな。あんたやったらどうする？

本展覧会は大阪大学大学院人文学研究科と大阪大学総合学術博物館が共同し推進するアート人材育成プログラム「中之島に鼯を放つ」の一環として開催されんで。

新型コロナウイルスの感染拡大を防止せんとあかんから、展覧会内容、イベントに変更があるかもしれへんけど堪忍な。  
入館するときは、マスク着用・検温・消毒に協力してや。



檜皮 一彦  
HIWA Kazuhiko

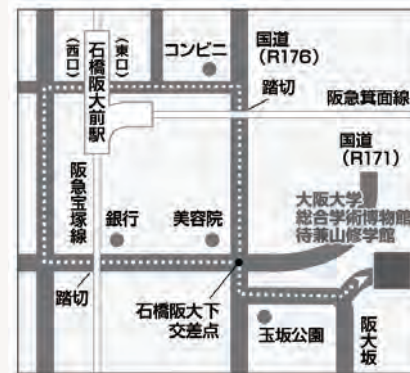
大阪生まれ。身体性をテーマにした映像作品やパフォーマンス、自身も使用する車椅子をインス  
タレーションする「HIWA

DROME」をファーストラインに、ワークショップや旅を通したモビリティやアクセシビリティのリサーチプロジェクトである「walkingpractice」、ペインティング作品を中心とした「DRAWING EXPERIMENT」、衣服を用いてボディと社会の係り性を考察する「HIWADROMe by Kazuhiko Hiwa」など、複数のラインを展開している。

最近の活動として「GRAND FRONT OSAKA ART SCRAMBLE」(グランフロント大阪/大阪、2022)、「六本木アートナイト2022」(六本木ヒルズ/東京、2022)、「bleed 2022」(Arts House/メルボルン、2022)がある。



walkingpractice Archive



〒560-0043  
大阪府豊中市待兼山町1-20  
大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館  
(阪急電鉄宝塚線・石橋阪大前駅より徒歩約10分、  
大阪モノレール・柴原阪大前駅より徒歩約20分)  
Tel : 06-6850-6284

お問い合わせ先  
<https://nakanoshima-itachi.org/contact/index.html>



大阪大学  
総合学術博物館  
website

